第1回 代表者研修会報告

日時：令和7年5月12日（月）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：秋澤副会長

1 あいさつ

(1) 静岡県養護教諭研究会	中島 由紀江 会長
(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長	金野 教之 校長
(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班	伊郷 さおり 教育主査
(4) 静岡県学校保健会	山崎 優志 事務局長
- ・現場の声を反映した要望書を文部科学省に提出している。保健室の備品充実や複数配置の基準の見直しなどの要望もあげている。
 - ・静岡県学校保健研究大会は、11月13日（木）に牧之原市で開催をする。
 - ・中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会は、オンライン開催を計画している。
 - ・学校保健新聞コンクールの募集もする。積極的に応募してほしい。
(5) 静岡県中学校体育連盟	杉山 肇 理事長
- ・今年度も6月より地区予選会、6月15日から8月1日まで県総体夏季大会が行われる。
 - ・けがの処置や救急搬送の判断など養護教諭の適切な対応があり、選手や役員一同が安心して大会に参加できている。
 - ・富士宮のバトミントン会場については、選挙の影響で変更の可能性がある。

2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班 伊郷さおり 教育主査

前回から更新された内容について、ポイントを絞って伝える。

静岡県の感染症発生動向状況について

静岡県において、第18週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に

1)急性呼吸器感染症 2)感染性胃腸炎 3)伝染性紅斑

風しんの発生と伝染性紅斑の警戒レベルについては、令和7年5月2日に情報提供として発出済み。校内で周知し、引き続き、健康観察及び校内における感染症対策をお願いしたい。

<所管事項> (※以下の番号・ページは、所管事項資料の項目番号)

1 保健管理

(1)感染症への対応

③ 麻しん (はしか) P 2

5月2日に東京都内で麻しん患者が発生し、周囲に感染させる恐れがある日に静岡県内を訪れていたとのことで、5月3日に危機管理情報が流された。

麻しんは極めて感染力が強いことや、麻しんの重篤性を十分に理解し、日頃から十分な予防策を施すとともに、万一麻しんが発生した場合には迅速な対応をとることが重要。各学校においては、今一度、「学校における麻しん対策ガイドライン 第二版」を確認し、平時から、児童生徒等の予防接種歴・罹患歴の確認をしておくなどの体制を整備し、発生時には管轄する保健所に速やかに報告してほしい。

(2) 疾病管理（現代的健康課題への対応）

① 児童生徒等の定期健康診断の実施

・ P 3（上から3つ目）

健康診断の結果は、心身に疾病又は異常が認められず、健康と認められる児童生徒等についても、事後措置として健康診断結果を通知し、健康の保持増進に役立てる必要があることから、全項目の結果を、学校の実態に応じた方法（健康手帳や個人カード等）で通知してほしい。

・ P 4（上から3つ目）

令和7年4月24日付け教健第74号「令和7年度学校保健関係各種検診結果調査の実施について（依頼）」

健康体育課では、心臓検診、腎臓検診、脊柱側弯症検診に関する結果の検討を静岡県医師会に依頼している。これらの検診結果の検討に使用する、検診結果書類や学校生活管理指導表は、名前を消しても、学校名、学年、組等があり、誰のものか調べることは容易であるため、個人情報であるとの指摘があり、第三者である県医師会に提供する前に、利用目的を明示する方法に変更した。

学校は、学校における心臓検診・腎臓検診、脊柱側弯症検診で、医療機関への受診が必要となった場合、「受診のすすめ」などの所定の検診結果書類を児童生徒・保護者に渡す際、別紙1「検診結果の検討事業の流れについて」、別紙2「個人情報の利用目的（小・中学生用）」を該当児童生徒・保護者に配布し、個人情報の利用目的を明示する。

該当児童生徒・保護者から個人情報の提供に対して意見や問合せがあった場合は、学校から「検診結果の検討事業の流れ」や「個人情報の利用目的」の内容を説明する。理解が得られない場合は、その児童生徒の検診結果は医師会に提出せず、検診結果の検討は終了とする。その場合、保護者から、いつどのような申し出があったかを記録に残し、健康体育課（伊郷主査）宛に直接電話で報告をする。

・ P 5（上から1つ目）

「学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断の実施に当たって留意すべき事項」について

児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断の実施、健康診断を受けることができなかった児童生徒等への健康診断の対応について、保護者に事前に周知するなど、適正かつ効果的な健康診断の実施をお願いしたい。

② アレルギー疾患への対応 P 5（上から4つ目）

学校管理下でエピペン使用又はアレルギー様症状で救急搬送した場合は、「学校事故・事件等における連絡・報告について(依頼)」(令和7年4月1日付教義第7号)のとおり、学校から各市町教育委員会に報告をする。

⑥ 熱中症予防と落雷事故予防等の徹底

- ・令和7年4月23日から環境省が熱中症特別警戒アラート及び熱中症警戒アラートの運用を開始。熱中症の予防について、児童生徒への指導、教職員や保護者への予防啓発、発生時の適切な対応のための校内体制の整備等をお願いしたい。
- ・令和7年4月10日、奈良市の学校でグラウンドに雷が落ち、部活動をしていた生徒6人が病院に搬送されるという事故があった。各学校での対策のために、雷注意報や気象庁の雷ナウキャストなどを活用し、事故防止に努めてほしい。

2 保健教育

(1) 薬物乱用防止教室

③ 令和7年度薬学講座基本方針 P 7

薬学講座は、医薬品の正しい知識の普及を図るとともに、麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグ等の薬物の乱用による弊害を周知し、薬物乱用防止を徹底することを目的としている。令和7年度も、対象学年は小学校5年生または6年生、中学校は全学年で実施。各校での適切な実施をお願いしたい。

薬学講座実施状況を確認したところ、中学校の全学年で実施されていない学校がある。対応が可能な学校は今年度から、対応が難しい場合は令和8年度から全学年実施となるよう対応をお願いしたい。実施方法の一例として、全校で一斉に行う、各学年15分ほどで学年ごとに内容を変えて実施し、3年間で内容を網羅するなど工夫している学校もある。全学年での実施となるよう、対応をお願いしたい。

(2) がん教育

① 第4次静岡県がん対策推進計画(令和6年3月) P 7

県内全ての小中学校・高等学校で適切ながん教育を実施することを目標としている。目標達成のために、がん教育を学校保健計画に位置づけ、体育・保健体育科の授業や特別活動などにおいて、教育活動全体を通じて計画的に実施してほしい。

外部講師(がん経験者)の活用を促進するため、希望する小・中・県立学校20校程度に、外部講師(がん経験者)の派遣を行う。派遣に係る事務手続きや経費(謝金や旅費)負担は、健康体育課が行う。令和7年3月19日付けの「令和7年度がん教育における外部講師(がん経験者)の派遣について(通知)」を確認し、活用してほしい。

3 その他(P 8上から3つ目)

重症の低血糖発作時のグルカゴン点鼻粉末剤(バクスミー)投与について

バクスミーの製造販売承認が、令和6年12月31日から、グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社に承継されている。使い方は、グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社のホームページで確認する。

4 養護教諭・保健主事の資質向上（令和7年度の予定） P 9

(8)全国学校保健主事研究大会（千葉県）

令和7年7月28日（月）～から29日（火）に開催決定。

別紙配布資料について

- ・学校保健に関する通知等や学校保健に関する書籍・資料等の一覧。
- ・令和7年8月8日の悉皆研修の要項(案) 決定次第、後日連絡。

以上が所管説明

【健康体育課よりお願いとお知らせ】

①静岡県歯科医師会からの依頼で、調査を実施するかもしれない。その際は、ご協力いただきたい。

＜内容＞・就学時健康診断とは別に、小学校入学前に歯科を受診し、結果を学校に提出するように依頼している地区があるか。

・歯科検診の受診率について。

②令和8年度関東甲信越静学校保健大会について

令和8年8月6日（木）第77回関東甲信越静学校保健大会が静岡県主催で行われる。現在準備を進めている。開催市となった地区や近隣市町の先生方には、協力を依頼することもあるかもしれない。その際は、協力をお願いしたい。

3 役員及び理事紹介

4 議事

(資料 配付済み)

(1) 全養連副会長 西川美紀先生より

- ・全養連は、現役の養護教諭で組織している団体であるため、文科省からも信頼され全国の養護教諭の意見を伝えるなどのパイプ的な役割をしている。
- ・全養連の会員は、約26,000人で全国から53の研究会が加入している。
- ・本部が会長1名、副会長3名、常務理事6名で理事が各ブロックより1名ずつ。九州から北海道までブロックが分かれており、1名ずついる。
- ・広報活動してホームページを活用している。昨年度から会員ページを設立し、パスワードでログインする形となっている。パスワードは毎年変更する。
- ・令和9年にスポーツ振興センターの申請システムが新しくなる。運用されたら皆様から御意見を伺いたい。
- ・養護教諭は高度専門職として常に研修を重ねていかななくてはならない立場。第31回研究協議会が2月13日（金）有楽町朝日ホール、第27回研修会Web開催にも、ぜひ参加していただきたい。

(2) 令和6年度事業報告

中島会長

- ・代表者研修会はすべて集合形式で行うことができた。
- ・各委員会においては、状況に応じて対面やウェブを使い分けて開催した。
- ・夏季研修会は、南海トラフ地震臨時情報発令を受け、中止となった。
- ・冬季研修会は、オンデマンド形式で開催した。

(3) 令和6年度会計報告

小池会計

【収入の部】

- ・たちばな 67 号… 1 冊 600 円で販売

【支出の部】

- ・夏季研修会が中止になったり、全国学校保健安全大会がリモートに変更になったりしたため、決算額が減った。

【災害復興支援金】

- ・印税収入が 19,395 円。支出 0 円。次年度へ繰り越す。

会計監査報告 会計監査 大石委員

(4) 養護教諭にかかわる組織・静岡県養護教諭研究会会則

中島会長

- ・この資料を活用し、各地区理事から会員へ、私たちの組織は多くの方と協力し、支えていただきながら活動を行っていることを知らせてほしい。
- ・会費については、今年度も 1 人 3000 円とする。

(5) 令和7年度事業計画案

中島会長

- ・令和6年度から引き続き、テーマは「子どもの未来ために～伴走者としての養護教諭～」としている。
- ・子供に寄り添い、保健室が心地よい居場所になるよう伴走者の言葉を使っている。
- ・研究会の活動を「探る・広げつなげる・深める」ことで会員一人ひとりの資質が向上していくことを願っている。

(6) 令和7年度研修計画案

中島会長

- ・代表者研修会は、3回計画している。
- ・小中高交流研修会を8月21日（木）に予定している。
- ・静岡県養護教諭研究会のホームページのログインIDとパスワードを6月2日に更新する。たちばな68号の巻末にも掲載する。令和8年度以降、ログイン情報の変更は6月1日を基準日とする。

① 令和7年度夏季研修会

- ・講師は昨年度、講演を聞くことができなかった獨協医科大学 埼玉医療センターの井上建先生を招き、「子供たちのネットとゲーム依存について多角的に考える」というテーマでお話をいただく。

② 令和7年度冬季研修会

- ・事例集19を活用して監修者の田嶋八千代先生と国際救急法研究所の宇田川規夫様の協力のもと計画をすすめている。
- ・今年度は、対面式でグランシップでの開催を計画している。
- ・冬季研修会については、第2回の代表者研修会で、詳しい連絡をする。

(7) 各委員会活動計画案

① 会誌「たちばな68号」編集委員会

飛田委員長

- ・「知りたい・聞きたい」では、2年に1度開催されている小中高交流研修会の報告とフレンズYOUGOに参加して学んだことの実践報告の掲載を考えている。
- ・今年度は、1冊500円で販売する予定。
- ・「地区の様子」の記入は、1ページに3地区分が入るようできるだけ簡潔にまとめる。たちばな66号、67号を参考にする。

② 調査研究委員会

竹嶋委員長

- ・実態調査冊子を例年通り作成していく。
- ・令和6年度末の調査時に新しい質問項目を追加した。その項目についてまとめ方、活用の仕方を検討し、会員の皆様が今後に生かせるものを考えたい。
- ・本年度から、全ての実態調査の結果を、ホームページに掲載する予定。

③ 「実践事例集19」編集委員会

秋澤委員長

- ・たくさんの事例を提供していただき、少しずつ形になってきている。
- ・セキュリティの関係で地区に資料を送れないことがあったが、いただいた資料は、より良い形で生かしていきたい。
- ・令和7年12月の発刊を目指す。

④ ホームページ編集委員会

秋定委員長

- ・静岡県養護教諭研究会ホームページは、令和6年11月に株式会社オカムラに業務委託することによって、新しいホームページとなった。そのため、管理規則の第2条の部分が変更になった。
- ・会員の職務の参考となるHPをめざすので、ぜひ積極的に閲覧をしていただきたい。

⑤ 組織対策委員会

杉山委員長

- ・年に1度、組織検討委員会を開催できるよう政令市代表の先生や会長、顧問、顧問校長と相談しながら開催時期を検討したい。

⑥ 役員選出委員会

木内委員長

- ・次期会長は、静西管内から選出し、副会長候補を静東、静岡、静西、浜松から1名ずつ選出する方向で進めていく。
- ・第1回役員選出委員会で選出方針の確認を行った後、各地区へ役員推薦の依頼をしていく。

(8) 令和7年度会員の実態

関口書記

- ・名簿が完成した。この名簿は、会員の実態把握、研修会の受付、会費の納入、調査報告などに活用していく。
- ・今年度は学校統廃合により小学校3校、中学校2校減少した。また、児童数の減少により小学校の複数配置も昨年度より5校、中学校2校減少した。
- ・年度途中で複数配置の変更があった場合は、電話で担当（関口）まで連絡をする。（内容はR7会員数－4を参照）

(9) 令和7年度予算案・会費納入

小池会計

- ・収入については、事例集19の販売の収入と冬季研修会の参加費が含まれている。
- ・支出については、小中高交流会研修会、事例集19の印刷代、冬季研修会が参集型になるための支出が増えている。

【会費納入について】

- ・期日 7月11日(金)まで
- ・振込手数料は各地区で負担する。
- ・納入後「会費納入報告書」を、FAXで会計に提出する。
- ・不明な点は会計担当（小池）へ確認を。

5 連絡事項

(1) 会報「きんもくせい」について

関口書記

- ・本年度も年4回の発行を予定している。
- ・地区の掲載を141号は富士地区と富士宮地区、142号は浜松地区と加茂地区にお願いする。事前に担当から連絡をするので、原稿作成の協力をお願いしたい。

(2) 旅費等について

小池会計

別紙資料「旅費等支給の申し合わせ事項」参照。

本研究会は、必要な旅費を研究会の会計より支給している。

事務局より出張文書が届いたら、旅費を自身で計算し、会計に提出してください。

資料裏面の内容は、各地区で選出された委員の方や、関係する方へ伝達してほしい。

<主な内容>・代表者研修会（年3回）と夏季研修会の旅費は所属校負担。

- ・冬季研修会は、参加希望の会員の旅費は所属校負担、参加費は自己負担。運営に関わる役員や委員は、旅費は研究会負担、参加費はなし。

- ・小中高交流研修会は、出席する地区理事の旅費は、研究会負担。
- ・全養連研究協議会（2月開催）は、地区から参加会員を出していただくことになっている。旅費は研究会負担、参加費は自己負担。

(3) 地区別担当割当てについて

中島会長

- ・事前に事務局からメールで依頼している。5月19日（月）までに事務局へ報告。
- ・会計監査については担当理事を割り振り済み。
- ・たちばな原稿依頼をしている磐周金原指導主事様へは、研究会役員から依頼済み。
- ・全国養護教諭連絡協議会への参加割り当ては、会員に全国レベルの研修会に参加する機会を設けるための研究会としての取組。交通費は研究会負担、参加費は自己負担。研修報告はなし。

(4) 事務局より 理事依頼事項について

佐野事務局

① 令和7年度役員、地区理事名簿

- ・報告されているアドレスに事前の資料などを送っているが、各地区のセキュリティが厳しく、添付文書が文字化けするなどの不具合が報告されている。困ったことがあったら遠慮なく事務局に連絡してほしい。

② 理事依頼事項の報告等について

- ・各委員会の編集委員の報告を期日までをお願いしたい。（報告用紙1、2は事前を送付済み）
- ・記入にあたり、メールアドレスは、0（ゼロ）、0（オー）、_（アンダーバー）、-（ハイフン）などわかりやすく記入し、報告のない箇所は斜線を引く。
- ・選出された委員に、第1回研修日（6月10日13:30～）の連絡をお願いしたい。
- ・地区別割り当てについての補足。既に名前が入っている方（黒字の方）についても、連絡先等の確認をしてから報告をしてほしい。
- ・地区の顧問校長には、配布済みのピンク色の封筒に代表者会の資料と会報「きんもくせい」を印刷して入れ、地区理事から渡してほしい。
- ・顧問校長の人数に変更がある場合は、事務局まで連絡してほしい。

(5) その他

- ・緊急時連絡体制

中島会長

昨年度の南海トラフ臨時情報発表を受け、夏季研修会の中止の判断はこの規程に沿って進めた。その反省も含め、今回一部改正した。何か事案があった時にはその都度改定をしていく。

- ・全養連パスワードについて

中島会長

配布済み資料参照。全養連、本研究会ともに会員外へのパスワードの漏洩に注意。

- ・研修報告 全国養護教諭連絡協議会第30回研究協議会
日本学校保健会事業報告会

- ・静岡県退職養護教諭の会（みどり会）の閉会について

中島会長

令和7年3月22日をもって閉会。

平成元年に16名で発足し、最盛期は49名の会員がいた。会員の高齢化と新規加入者の減少により閉会となった。

(6) 各地区から

- ・特になし